

令和3年度 岡崎市史料叢書編集出版検討会 会議録

1 開催日時・場所

令和4年3月16日（水） 午後2時から
岡崎市美術博物館会議室

2 出席者

神谷 智 （愛知大学教授）
神田竜也 （元愛知教育大学講師）
加藤重孝 （岡崎地方史研究会幹事）
鈴木テル子 （岡崎古文書研究会幹事）
安藤幸子 （新編知立市史近世部会調査協力員）

3 説明のため出席した事務局職員の職氏名

学芸係長	大澤 一実
学芸係 主査	浦野 加穂子
学芸係 主査	湯谷 翔悟
学芸係 事務員	山下 葵
学芸係 主事（再任用）	堀江 登志実

4 会議録

あいさつ

1 報告

- (1) 史料叢書売上数（令和3年4月～同4年2月）
（美術博物館・文化振興課・家康館・瀧山寺・大樹寺）
- | | | | |
|----------|----|---|----|
| 『瀧山寺文書』上 | 7冊 | 下 | 5冊 |
| 『大樹寺文書』上 | 7冊 | 下 | 9冊 |
| 『長嶋家文書』 | 1冊 | | |
| 『中根家文書』上 | 0冊 | 下 | 0冊 |

2 議題

- (1) 「岡崎町方文書」の刊行

① 掲載史料について

別紙案のとおり

② 巻の名称

「岡崎市史料叢書 岡崎町方文書」

③ ページ数・冊数

約 550 頁（口絵・目次・解題・本文）400 部

④ 口絵候補、解題執筆

⑤ 刊行スケジュール

令和 4 年 4 月 発注（業者決定）

令和 4 年 5 月 入稿

令和 4 年 6 月～令和 5 年 1 月 校正

令和 5 年 3 月 刊行

【質疑】町方文書の内容について

（神谷） テーマ 3、4 は全く別物か。往還御用留と御用聞書留は別物か。

（堀江） 全くの別物

（神谷） 岡崎では「御用達」を「御用聞」と呼ぶのか

（堀江） 岡崎では「御用聞」

（神谷） テーマの付け方が堅い。

岡崎の町の様子、町役人の仕事、宿場の様子、御用聞の仕事、町人の生業とくらし

など、親しみやすいタイトルを考えてほしい

■口絵について

⇒伝馬町の絵図…口絵にすると見栄えするが、文字は見えなくなる、旧市史で翻刻済

⇒糸惣の写真があればそれを使うという案も

⇒古文書など、事務局で選定する方針で決定

■解題

2 ページくらい

糸惣などの資料群について、どういった家なのかなど資料の性質を説明する

(2) 「本多家文書」の刊行

① 掲載史料について

岡崎市情報公開条例に基づき非公開。

② 採録の方針について

既刊掲載史料も含む

「いせの国御蔵入給人のもくろく」、『九六騒動記』、領地宛行状の一部など

向陽古今図録の掲載方法

→DVD 付録

③ 巻の名称

『岡崎市史料叢書 本多家文書』

④ 刊行年度

令和8年度

【質疑】

・本多家文書という名前について

(鈴木) 本多忠勝家文書など、忠勝の名前を入れてはどうか

(神谷) 忠勝流本多家文書、本多家(忠勝流)文書などが学術的には妥当か
同じ姓で違う家をどのように表現しているか、他の事例をさがして再検討を。

(3) その後の刊行

① 本多家家臣文書

都築家、梶家(家老)、服部家(忠勝譜代)

伊藤家(記録類)、和田家(分限帳)、緒方家(新参家臣)

その他、徳永・吉村・浅野家

中根家は御書など、梶家・都築家および他家の史料を補完できる史料を採録
他機関所蔵の史料も調査して採録する

林家(客分):名古屋市博物館 ⇒R4に調査予定

太地家:明治大学博物館 大藤家:立教大 長尾家:岡崎市内

② 町方文書の続編

⇒(神谷) R4刊行の町方文書に続巻を作るという旨を書いておくと良いのでは

③ 三河木綿関係